

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

和らぎの家・京都

グループの名称

和らぎの家・京都推進協議会

直近採択グループ番号

(グループ代表者)

代表者名	橋本 佳典	代表者印
代表者所属先	株式会社 ハウス・デポ関西 京都営業所	
代表者所在地	京都府長岡京市勝竜寺六ノ坪11番地24	
代表者電話番号	075-959-0100	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社 ハウス・デポ関西	
事務局担当者名	那須 義也	印
事務局郵便番号	671-1534	
事務局所在地	兵庫県揖保郡太子町福地719-1	
事務局電話番号	079-276-2992	
事務局FAX	079-276-2324	
事務局担当者E-mail	nasu27@housedepot.co.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	和らぎの家・京都
2. グループの名称(必須)	和らぎの家・京都推進協議会
3. 直近採択グループ番号(必須)	--
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	兵庫県・岡山県・京都府・滋賀県・大阪府
5. 結成年(必須)	2018 年
6. グループ代表者名(必須)	橋本 佳典
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 ハウス・デポ関西 京都営業所
8. グループ代表者所在地(必須)	京都府長岡京市勝竜寺六ノ坪11番地24
9. グループ代表者電話番号(必須)	075-959-0100
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 ハウス・デポ関西
11. グループ事務局担当者名(必須)	那須 義也
12. グループ事務局郵便番号(必須)	671-1534
13. グループ事務局所在地(必須)	兵庫県播磨郡太子町福地719-1
14. グループ事務局電話番号(必須)	079-276-2892
15. グループ事務局FAX番号(必須)	079-276-2324
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	nasu27@housedepot.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	8	原木供給業者が海外もあり、認証方法は製材業者以下で行う
II. 製材・集成材製造・合板製造	8	製材業者が海外もあり、認証方法は流通業者以下で行う
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	製材・集成材製造・合板製造業者もしくは建材流通を介さず納材される場合もある
IV. プレカット	5	賃加工等で商品の商流に含まない場合もある
V. 設計	1	建築主が設計を行ったり、建築主の意向により構成員外の設計業者もありえる
VI. 施工	6	/
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木製製品の合法性・持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッド法に基づき合法であることが確認された木材・木製製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	兵庫県産材	兵庫県	兵庫県産木材証明制度	1	国内	
	岡山県産材	岡山県	おかやまの木で家づくり推進事業	1	国内	
	京都府産材	京都府	京都府産木材認証制度	1	国内	
広島県産材	広島県	広島県産材産地証明制度	1	国内		

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積		5	棟				
				500	m ²				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		1	棟				
				100	m ²				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	優先順位は先着順とするが、未経験工務店を優位とする								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 和らぎの家・京都	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県・岡山県・京都府・滋賀県・大阪府
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 和らぎの家・京都推進協議会	(結成年) 2018年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	兵庫県・岡山県・京都府の認証木材及び合法木材の使用を主要構造材の60%以上とする。 長寿命型については震災に強い安全性の高い住宅として耐震等級3以上を必須とします。 長寿命型については先の省エネ基準も視野に入れ、断熱性能等級4以上とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域林業等の保全、快適な住環境の提供、次世代に安心安全な住宅を提供する為、地域材を活用した人にやさしい木の風合いのある住宅の提供を進めると致します。 耐震等級3以上を必須とし、24mm以上剛床を推奨する。 省エネ等級4だけでなく、省エネ、低炭素化に向けた仕様住宅を推奨する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	グループ対象地域の条例に基づき、街並みの景観に沿った住宅の提供に努める。 又、対象地区は夏に高温、冬に低温となる為、それに対応する外観を損なわない最新の冷暖房機器を推奨する。 和を基本とした住宅の提供に努め、内装のみならず外観・庭等にも配慮する。	◎
④①～③の背景	当グループ活動地域は主に京都市中心となるが、決して気候に恵まれている地域ではない。夏は暑く冬は寒い湿度も高く住宅の性能向上が求められる。又、日本の重要構造物も多く景観にも独自のガイドラインが設けられている。 現状は、土地柄、近隣の境界も狭く京都議定書に基づいた地球温暖化対策もなかなか進まない。 しかしながら、地元住人の意識は非常に高く、住宅以外でも省エネに対する生活レベルは上がって来ている。 独特な気候と地球温暖化による災害も考慮すると、住宅の質の向上は避けられない。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	今年度は「和らぎの家」として複数のグループを立ち上げ、関西近郊での積極的な活動を行い、情報を共有することでより以上のグループ発信が行える。事務局が「和らぎの家」のホームページを利用し、消費者へのマーケティング活動の強化や長期優良住宅及び高度省エネ住宅のPRを行なう。 今後は、構成員を増やし地域活性を強力に図る。また、完成保証の施工主へのPRで消費者への安心を強化していきます。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄		
a			
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている →	内容: 地元材を積極的に採用することによってCO2排出削減を進める。さらに羽柄材についても積極的に国産材を採用する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている →	内容: 断熱材やその他省エネ、耐震の資材購入にはグループ内にて統一したものを使用し安定供給に努める。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている →	内容: 主要構造材については地域材を60%以上使用する。 地域材については各県府産材の使用を標準仕様とするが、施工構成員の構造によるオプションも考慮する	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている →	内容: 建築資材の調達については、安定供給と安価な仕入れを考慮し共同購入は強制していないが、グループ間での資材供給を推奨している。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている →	内容: 適合申請は、特別な理由がない限りJKサポートセンターを活用する。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている →	内容: 建主に対してグループの取り組みや長期優良住宅・認定低炭素住宅・ゼロエネルギー住宅等の性能を、よりわかりやすく説明を継続致します。そして完成保証がまだ浸透していない為、施工主からの要望が出るような取組を行う。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある →	内容: 事務局が定期的に開催している研修会を外聘講師によるセミナーだけでなく、グループ内での成功体験セミナーの開催等を企画して情報共有と向上につとめる。	◎
b			
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある →	内容: 各施工業者の標準仕様による設計図書及び見積書の作成を履行し、施工主への提示を義務付ける。 瑕疵担保責任保険に加入、現場検査にて施工過程の明瞭化に努める。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある →	内容: 建設地の地盤調査を実施し施工主への報告を義務付ける。住宅瑕疵担保保険に加入し、現場検査を活用する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある →	内容: 省エネ性能の向上を目指して低炭素化住宅を推進することで、施工技術だけでなく、コスト面でも、見積書等の作成により建築コストの「見える化」を推進します。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある →	内容: 長期優良住宅仕様等のリスト等を活用しグループ全体の生産性を向上する。 地域材のサンプルを活用し施工主に対して木の良さのある住宅のPRに努め、そして本グループの住宅ブランドの説明と宣伝等を積極的に推進する。	◎
c			
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある →	内容: 構成員によっては既に週休2日制を導入しているが、特に施工構成員については、現場の作業もありなかなか難しい。事務局から積極的に呼びかける。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある →	内容: 「和らぎの家」グループとして、関西地区での現場見学交流に努め、技術向上や知識の拡大を図っていく	◎
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある →	内容: 現状では法人でない個人の工務店も構成員となっている為、社会保険の加入は全てではない。今後としては、法人化を進め社会保険の加入に努める。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある →	内容: 施工構成員は、現場作業時の安全対策を個々に行っているが、グループとしての取組みは行っていない。今後は事務局からの発信で安全大会を実施する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当グループの施工構成員には枠組み工法で施工する事業者も入る為、地域材(国内国外産)の証明は原木業者・製材・集成材・合板製造業者以降の建材流通業者の念書にて代用する。 グループ独自の完成保証制度(ハードシステム)を義務化による引渡への安心と信頼の獲得につとめます。(施工主による希望等一部例外を認める)		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 和らぎの家・京都	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県・岡山県・京都府・滋賀県・大阪府	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 和らぎの家・京都推進協議会	(結成年) 2018 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターが提案する住宅履歴の図書館を推奨する	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JKサポートセンターが中心となり情報提供に努める	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が窓口となり受付し登録手続きを行う	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となりグループ全体でメンテナンス体制を構築する。	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となりグループ全体で補修体制を構築する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が窓口となり受付しメンテナンス手続きを行う	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内でメンテナンス実行時現場研修会を開催する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地元木材問屋、建材問屋の展示会を積極的に参加しPRを強化する	◎
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地元木材問屋、建材店の展示会を積極的に参加しPRを強化する	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が「住宅履歴の図書館」についての研修会を実行する	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的な維持管理研修会を事務局から案内し実行する	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループが推奨するハートシステム(完成保証制度)を施主に提案している	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成保証制度の勉強会を実施し、着工から引渡しまでの安心と信頼を確保する。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループ共通の維持管理シートに基づく定期的な検査を実施し、維持管理シートを事務局が確認する。 第三者の履歴管理サービスを利用し共通管理をおこない、住宅履歴情報サービスが発行する住宅履歴情報の預かり証の写しを事務局が確認する。		◎
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅を基本とし資金面も含めた住宅に対する幅広い知識の習得を進める	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 生産業者の研修会を積極的に利用し商品知識の拡大を図る	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が窓口となり上記研修会を開催し施工構成員へ案内する	◎	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ・認定低炭素・ZEH技術セミナー、住宅ローンセミナー等の開催	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 太陽光発電セミナー、長期優良リフォームセミナー、住宅ローンセミナー等の開催	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場での現場見学会を開催し、グループ全体の勉強会を事務局から発信する。	◎	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 3 今年度の参加目標人数 5	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 5			
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ講習会を事務局から案内し、参加を義務づける		◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: HEMS・太陽光発電、蓄電池等のエネルギー関連機器を積極的に推奨する	◎	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内での成功体験セミナーの開催等を企画し情報共有と向上につとめる	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事務局が定期的な研修会、見学会の開催を企画し実行する 住宅省エネ施工セミナーへの参加を施工以外のグループ構成員が積極的に受講するものとする。		◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 和らぎの家・京都	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県・岡山県・京都府・滋賀県・大阪府												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 和らぎの家・京都推進協議会	(結成年) 2018年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】														
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	当グループの共通ルールは主要構造材に県産材もしくは合法木材を60%以上確保し使用する羽柄材にも地域材の採用の枠を広げる。(間柱、野縁等)土台・柱は地域の桧材を中心に採用する。梁・桁は地域の杉集成材・合法木材を中心に採用する。												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	柵材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>地域材のフロー図</p> <p>当グループは地域型住宅の拡大を図る為、枠組み工法の施工業者も参加している産地の証明については国内・外国産材(合法木材)を使用する為、その場合流通業者による納品書等で地域材の証明とする。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 産地と市場との関係を強固なものとした上で、地元の木材問屋と関係を密にしている												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材に関しては、事務局が介し価格の適正化を図っている												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ構成員による安定した地域材を供給出来る仕組みとなっている												
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 30枚 推奨している												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 50坪 推奨している												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10枚 推奨している												
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10枚 推奨している												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: タンスなどに地域材を使用した収納家具を中心に推奨する												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地元特有の格子や和紙など和に準ずる商材の提案に努める												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 特に街並み景観に配慮し、町全体が損なわない家造りに努める												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 雨水等を利用できる設備で打ち水などの住環境を提案する												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 格子等を利用し通風及び生活環境の保護に努める												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 居室については、現代の洋畳も提案し和空間の提案に努める												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地元木材問屋・建材問屋主催の展示会へ積極的に参加し情報収集に努める。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】														
	東日本大震災の復興に資する取組	地域材に対する地区の拡大も見据える												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	地域材に対する地区の拡大も見据える												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 和らぎの家・京都	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県・岡山県・京都府・滋賀県・大阪府										
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 和らぎの家・京都推進協議会	(結成年) 2018年										
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---											
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み												
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。												
<p>和らぎの家・京都推進協議会</p> <p>高度省エネ型住宅の特徴</p> <p>本年度から新規で申請を行うが現施工構成員の高度省エネ・優良建築物への取組がなく、今年度は積極的に行う</p> <p>当グループの内材使用の基本は地産地消をメインで始めて行き、地元材使用時のCO2削減を輸送エネルギーの面からも進めて行く</p> <p>認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅・ゼロ・エネルギー住宅の適合証明に関しては基本はJKサポートセンターを窓口とし証明書の代行発行を行う</p> <p>事務局のホームページにより、当グループのブランドの認知度及び信頼度の向上に繋げ、長期優良住宅・高度省エネ型住宅・木造非住宅の普及に努めていく</p> <p>今後の熱源の多様化へ対応出来る様、電力のみならずガスに対する意識も高め高エネルギー効率のハイブリッド使用も検討する</p> <p>認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の特徴</p> <p>一次エネルギー消費量を省エネ法、省エネ基準よりも10%以上の削減を確保し法律に適合する</p> <p>又、保証機関の適合証取得と合わせてBELS認証による省エネ認証性能表示を推奨する</p> <p>ゼロ・エネルギー住宅の特徴</p> <p>当グループの施工構成員でも認知度は高まっている為、積極的に取り組む</p> <p>対象基準は、下記、概要と目標設定とし、平成25年省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法に準じた評価方法とする</p> <table border="1" data-bbox="188 1025 1023 1111"> <thead> <tr> <th></th> <th>4地域</th> <th>5地域</th> <th>6地域</th> <th>7地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BELS認証評価で目標UA値 (ランクアップ)</td> <td>0.4W/㎡・K</td> <td>0.4W/㎡・K</td> <td>0.5W/㎡・K</td> <td>0.5W/㎡・K0</td> </tr> </tbody> </table> <p>グループ目標設定</p> <p>UA値 全ての地域を0.6W/㎡・K 全体R値100% 太陽光発電を除くRO値20% 太陽光発電容量3.75KWとする</p> <p>優良建築物の特徴</p> <p>第三者認証ラベルであるBELS認定による省エネ性能表示に努める。又、建築物省エネ法に必要な設計・施工について下記勉強会の実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築環境総合性能評価システム(CASBEE)についての勉強会 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)についての勉強会 認定低炭素建築物の申請についての勉強会 				4地域	5地域	6地域	7地域	BELS認証評価で目標UA値 (ランクアップ)	0.4W/㎡・K	0.4W/㎡・K	0.5W/㎡・K	0.5W/㎡・K0
	4地域	5地域	6地域	7地域								
BELS認証評価で目標UA値 (ランクアップ)	0.4W/㎡・K	0.4W/㎡・K	0.5W/㎡・K	0.5W/㎡・K0								

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。